

# 常警日新聞

定額 郵費別 一月五拾圓 郵費別  
定額 郵費別 三月十五圓 郵費別  
定額 郵費別 半年三十圓 郵費別  
定額 郵費別 一年六十圓 郵費別  
發行所 常警日新聞社  
印刷所 常警日新聞社  
電話 六二〇〇  
社址 福島縣平町新川端

## 國際道德の秋(二)

藤代生

我が邦の一知半解の、ンテリ階級中には露國を以て共產主義國の本山と見做して崇拜せる愚物も多いが、彼の五ヶ年計畫を始め軍備計畫等は羨むよりも寧ろ恐るべきものたるを知らない。帝政時代は勿論、近く北滿鐵道交渉の顛末に見るも明かなる如く、所謂世界の六分の一大陸を擁しながら寸地と雖も侵かすを容ざるは勿論、更に延びんとする。今日の露國は他を弱くして自ら強からんとする點に於て、帝政時代と何等變る所ない。支那は傳統的以夷制夷の外交に始終し、歐米の力を藉りて我國を壓迫せんとする以外に何等の能なく、彼は自國の國際管理を招致せざれば止まざるもの、斯くてその亡國を急ぎ白人の世界征服慾を助長するに維れども足らざる、洵に厄介極る國である。

要するに歐米諸國は日本さへ掃蕩し去れば、世界は白人の占有と成べきを信じ只管我國を制肘するに全力を傾けてゐることが判然と分る。支那は之に追従して自分の亡國を急ぐのである。今や南洋の和蘭領まで排日貨を實行し始めた。斯く見

來れば、四邊皆な之れ我が敵國である。しかも此の如きは昨今に至りて始まつたことではなく、時を嫌はず國際間の常例である。唯だ今日は我れの孤立に乘じ明白に暴露されてゐるといふに

### ノート

固くなつた食パンは浅い鍋に湯を沸騰させ長い箸を渡して食パンを乗せ五六分間放置して柔かにする

〇明日の献立  
〇朝【みそ汁】小かぶ  
【書】けんちん汁―黒鯛  
切肉 煎り豆腐 人参 しいたけ みつば  
【晩】白みそあへ―ねぎ 油揚 白みそあへ

たる如き姿にある。舉國一致之に對抗し、以て之を打開せざれば、遂には國民の生存權をも脅かされるに至るであらう。徒らに左傾右傾等の主義問題などに浮身をやつす時勢ではない。正義仁愛の道德論を始め宗教家文學者の言論述作中には、何處の國を問はず傾聴すべきもの少なからぬ。特に學術上の發見發明新説等、人類一般の利となるものは、珍重に値ひするものがある。夫等は時所位を問はず、多々益々之を採用するを妨げない。之は眞に世界的のものであるが、その外交、經濟政策等は各々自國の利益を主とする。随つて我邦の立場も他國より見れば、自ら同様に見えることも記せばならぬ。

【白】新企蒔直しの念起る日なれば古きを捨て吉又病氣怪俄の報もある未申丑寅凶【二黒】我身の立法の念が起る日然し子供の心配あれば進んで凶南北凶【三碧】離別死別の報に心配する事あれば水火の難と印形書付に注意南北凶【四綠】我望事を

旭硝子株式会社製品  
赤菱印 板ガラス  
子壘 子食器  
其他各種  
旭硝子株式会社製品  
赤菱印 板ガラス  
子壘 子食器  
其他各種  
旭硝子株式会社製品  
赤菱印 板ガラス  
子壘 子食器  
其他各種

御用命印刷物の總代理  
常警日新聞印刷株式會社  
電話三六〇番

旭硝子株式会社製品  
赤菱印 板ガラス  
子壘 子食器  
其他各種  
旭硝子株式会社製品  
赤菱印 板ガラス  
子壘 子食器  
其他各種

毛糸  
今年度新色全部揃へました。  
何卒御来店下さい……  
合名 会社 ハシモトヤ糸店  
平・田町 電十四番

喜多流謡曲と仕舞の  
お稽古をお勧め致します  
平田町六九  
喜多流 謡曲 白土會  
◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

かまぼこ製造  
お惣菜用 さつま揚 吉原場  
平町一丁目  
電話一四一番

難波 内科一般  
醫學博士 難波 睦  
平町大町新川端 電五〇二

鼻病、腦病 化學治療薬 ビノサン  
小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓  
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡単にして他に類の無い一日一回の用薬で手軽に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい  
御来店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告御持参の方に一人一回試薬致します  
福島縣平町白銀町五(千代メツキ店裏)  
石城郡特約店 村山書店  
販賣御希望の方特に御相談に應ず

中村齒科醫院  
平町 鍛冶町七

# 新高を豫期して

## 新米出廻り遅る

### 農家は悠々時機を覗ふ

## 統制法の効果

平地方は古米が既に品不足となり米穀商が

買入れに奔走して居るに拘らず安積、双葉方面から新米が移入されたのみで郡下よりは漸く鹿島から出廻つた以外には未だぼつ

の姿である尤も

當地方の出廻り最盛は来月下旬頃であるから未だ本調子にならぬも無理なからうが例年に比較して刈取りの模様等から押し割合に新米出廻りが遅れ

賣り惜しみの氣味があるその原因として平米穀検査所の觀測する處に依る

米穀統制法による暫定公定價格も最低廿二圓七十七錢と決定し八年度の産米は最低廿二圓七十錢ならいつても政府に買上げて貰へるといふ保證がつき今後本格的公定價格が決定される場合は廿三圓を下る事はなからうとの先高期待から何れも悠々と構へ

餘儀ない事情にあるものゝ外は賣り急がぬ結果と見られ居るが兎に角郡下最初の新米共販相場である去る一日の錦村倉庫に於ける四等建値九圓一錢は前回

に比し優に

七八十錢の高値に當るなど統制法の効果は相當顯著に現はれてゐる

## 竣工した

### 江名濱港

#### 百噸級の 出入自由

江名濱漁港は去る七月以來工事費二萬三千圓を投じ港口從來の水深二米を三米に開墾工事中の處愈此程完成したので昨日小林平土木監督所長は竣工検査を執行した之に依り百噸級の船舶も自由に出入可能となつたと

## 國民精神作興の

### 詔書記念式舉行

平町在郷軍人分會及び青年團は聯合し日本の國民精神作興の詔書發布十週年記念日に際し午前十時より松ヶ岡公園忠魂碑前に於いて記念式を舉行したが各中等學校並に各小學校でも夫々國旗を掲揚し各校長の講演があつた

## 豪雨被害

### 復舊費追加

平土木監督處では去月十九日の豪雨被害調査の中處道路、橋梁、河川海岸等の復舊費廿三萬四千五百圓を計上昨日縣に復舊工費追加豫算を請求した

## 平商の誇る

### 最高記録者

既報平商業學校では昨日午前九時より同校グラウンドに於て第三回校内外陸上競技大會を催したが各種目に於ける最高記録者は左の如く各賞状を授與された

- (百米) 十二秒五、五年、四家肇(二百米) 二十四秒八
- 同、齊藤三男(四百米) 一分零秒六、四年、赤坂顯一(八百米) 二分二十五秒一、五年、三部幹夫(千五百米) 五分十三秒二、同人(八百米繼走) 一分四十七秒九、五年、齊藤三男、高木、四家、齊藤、柚木(走巾跳) 六米二〇、五年、齊藤三男(走高跳) 一米五十二、四年、鈴木莊六(三段跳) 十一米二十七、五年、四家肇(砲丸投) 九米九〇、五年、酒井時寬(バレー球投) 二十七米三十一、二年、大和田昌司

## 平署跡を

### 分割競賣

迄く入札に平署跡の廣小路工事が漸く形が付いたので近く敷地跡を分割し入札競賣に附す筈

## 干害免租

### 認可さる

平稅務署より仙臺稅務監督局に申請中であつた玉川外廿三丁町村白五十六町歩貸賃價格二萬八千七百卅五圓千六百六十六人地租頭千百十圓の干害免租は認可さる

## 射撃場けふ竣工

### 披露大會は稻刈後に

山砲隊第一聯隊に於いて行れる演習參加の爲め今月下旬應召すると

## 辭令

平機關庫技手 和貝勘八郎 根崎五十三 平機關庫助役を命ず(各通)

## 平町人事

回 婚 姻  
△東京市日本橋區室町一ノ一二室田金重氏 二丁目三二葉谷静子氏



## 巷の話題

### 人生讀本

その日／＼の三面を賑はしてゐる切つたはつたの慘劇からほれたはれたの桃色病にいたるまでおおよそ鋭い批判の眼を以て見るならば、そこには生きている人々の世の生々しい姿をわれ等は見出すに違ひない、數多いナンセンスがたゞ笑ひ捨て、

う一片のナンセンスに、考へさせられ教へられ、うして味ふべき事どもが甚だ多いのである、本日の欄に盛り出すものは、この言ふならば、ほんまの人生讀本と言へないことではない、敢て御愛讀を乞ふ次第である、まず配役の一人々々に語らせて見よう

どうも何をやつても食へないのです、で少しはクルマを動かせるので運轉手なると思つたのですが、悲しい事に僕は學問はカラ駄目なんで、幸ひ免許證を持つて

ある友達に頼んで試験を受けてもらひ、どうやらこの數年間がゴマ化してゐたんですが斯うしてお調べを受けるのもウンの盡せよう、あやつとこま築き上げた生活もこれで完全にパンクしちゃまつた、茨城縣波崎町岡與惣三郎談

全く驚いたです。世の中には勇敢なカミさんも居るですな、先日晴山村にドブロック臨検に行つたんですが見つけたぞと思つた時はもう太つちよの、さんは一

升徳利をかゝえて逃げ出しちやつたぢやないですか、僕達はざるを得んです、だが捕まへた時は既に酒をかにつたです、徳利は滅茶苦茶に殘骸を晒してゐるばかりか、むしろふりついて来たカミさんは、ひつかくやらかみつくやら、お陰で一張羅のオーバーもこれこの通り滅茶苦茶です、すまじきは、すまじいア、岩手縣久慈稅務署員談

且那ア、ボンボン、ボンボン、えー下駄の齒入れエ、

と一んち足を棒にして廻つたつて日に五貫たアなりませんや、それよりか人間の齒入れの方が餘ッ程樂でゼニになりまつさアな、で流汗言葉で言ふと下駄の齒入れから人間の齒入れに轉向したわけなんですが、え？ 齒科醫の技術を知つてゐるかつて？ じよ、じよだんでせう、下駄の齒入だつて人間の齒入だつて呼吸はみんな同じこつてさア、東京向島吾町つま下駄齒入屋筋入力の助談

新妻教諭參加 警女 教諭新妻熊男氏は来る十二月一日より三週間高田

# 平驛前の面目一新

## 自動車停留を禁止

### 側溝と同時に舗装計画

平驛では従前から小川、赤井、湯本方面の乗合自動車客待ちの爲め驛前に停車し交通上屢々支障を來して居たが驛前の町有地廿五坪が鐵道省に寄附されたのを切掛けに十日限り自動車を切つ掛ける事になつた

# 殺人酒調査

## 酒類商店から

### 焼酎を押収し

縣に送つて分析試験

既報石城郡内に於ける殺人焼酎潜入の有無については其後本縣落合技手が來平平署の應援を得全管内に亘り精密な調査中にて取敢えず管内三十五軒の酒類商店から焼酎各一瓶宛を押収し今日中に福島に送り分析試験を行ふ事になつたと

# 東北一に

## 榮川が入賞

田町永山酒店特約の銘酒榮川は今回仙臺市に於いて開催された東北六縣第六回清酒品評會に東北一の首席優等賞を授與された

# 偽辯護士の

## 餘罪が續々

### 監守長と欺り

### 大金を騙取す

平町五丁目女髪結小鍛冶さくのおさん方より現金二百圓を窃取

## 逃走した偽辯護士湯

馬郡石神村大字大原字南三一生れ目下住居不定無職藤

# 鐵材業

松浦金方に於いて集鴨、小菅兩刑務所に鐵材を納入してやると稱し其運動資金として現金四百圓及び二十圓の商品切手を詐取した外更に十月八日小菅刑務所の入札

## 保證金と稱し八百圓

を着服其儘情婦加藤ヤイ子

# 四邊構はぬ

## 女給の嬌聲

### カフェー業者に

### 昨日平署のお達

平町のカフェー進出は著しいものがあり中には夜更くもジャズや音と女給の嬌聲入り亂れ近隣に迷惑かくる向もあり種々いかゞはしき風評も立つので平署ではこれに嚴戒を加ふる爲め昨日午前十時よりカフェー業者一同を同署會議室に集め営業時間及び音曲、風紀等に關し横山署長から左の如き注意あり即日實施する事になつた

明日の天気  
今日晴  
明日晴  
後六、〇〇 子供の時間  
お話「土の底」原田三夫賞  
後六、二五 基礎佛語講座  
(十六)目黒三郎  
後七、三〇 講演「國民精神作興詔書十週年記念講演」總理大臣官邸より  
中繼内閣總理大臣齊藤  
後八、〇〇 詠曲「安宅」北村一郎

# 今晚の部

後八、五〇 新内「戀娘昔八丈」松都譽美外  
後九、一五 歌謡曲  
後九、五〇 日本棋院秋季東西大手合戦續  
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告  
明日の部  
後七、〇〇 基礎佛語講座 (二十四) 橋本忠夫

を連れ福島在の土湯温泉に高飛びし來たり居合せた前記髪結のさくのおさんと知合になつた旨自白したがまだ此外にも

## 重大な 餘罪ある見込みである

後は徹底せる檢査をなす事  
五、女給にして無免許で營業に従事するものあり是は營業者故意の所爲と認めらるゝを以つて今後雇入れ解雇の際には速かに手續を取る事  
六、貸借償還其他收支明細は精確を期すべき事  
七、營業者にして女給との貸借收支を明細にせず動もすれば不正領得するものあるを以つて帳簿は精確に記入し常に明らかにして置く事

# 變態兒取締

## 湯本町から懇願

既報湯本町の凌辱殺人未遂事件の犯人同町字辰の口居住坑夫佐藤竹太郎次男正男(一七)假名は目下身柄釋放中の處其の後正男を別段に監視せざるに放つて置くので附近住民は今後の萬一を懼れ協議の結果同町駐在署巡查

# 二錢據金

## 朝鮮の水災

### 平商が見舞

平商では全校生より二錢宛を募集し朝鮮に於ける水災害罹災者に義捐金を贈る

## 十二日會繰上

既報來る十三日午後七時よりマールモホールに於いて開く筈であつた平町十三日會の例會は講師の都合に依り十二日に繰上げ午後六時より開く事になつたと

# 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△女中 四十才迄 尋卒  
月十圓位外面談(平町某)  
△兒守 十五迄 尋卒 仕着外月三圓位(内郷村某)  
△自動車修繕工 十八才位 尋卒 仕着外月四圓位(平町某)  
回職を求める方  
△土工夫 二十才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△看護婦見習 十八才 高卒 給料面談(平町某)



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第八十六回

血に飢ゆる村正

腹を決めての承諾

次郎左衛門胸中「に愈々俺を白痴と思つて居るな、此上四五百兩の普請をさせれば夫に準じて物入りも四五百兩は掛るだらう、然うして見れば千兩の大金を俺に背負はして此奴等が陰で舌でも出すに相違ない、宜し、そんなら此奴等の口車に乗つてスツカリ受合つてやり、其の後で目に見せてやらう」と覺悟をきめまた、其の次郎左衛門が大勢に目に物見せやうといふのは、己れは都築武助先生から仕込まれて鞍馬八流免許皆傳の腕前生涯は待になつて都築次郎左衛門と名乗り、武助先生の跡を繼がうと云ふのが豫ての望みでございませうれば佐野の家は義理ある兄の仙太郎が貧しい暮しをして居る、其の義兄にソツクリ家を譲つて終ひ、自分は町外者になつて、面小手竹刀の用意をして置いて、江戸へ出掛けて行き普請その他諸雜費先方の言ふ儘に千兩でも二千兩で掛さしてブイと自分は武者修行に出て終つても佐野の實家へ掛合に來て、外の身であれば手を掛る事



ひは俺が残らずする、仲の町へ暖簾だとか仕着せだとか總羽織だと云ふ事があるさうだが夫も夫派にするが、残らず私が拂つてやる」  
阿「エ、そんなら旦那が残らず引受けて下さいませうか」  
次「私も佐野の次郎左衛門だ、こう皆さんが立會で約束をした上からは決して違約は致しません、皆さんも其のつもりで御安心なさいまし」  
云はれて丸善藤八、萬屋の夫婦も雀躍をして喜びました、中に少し氣の付いた

仲「何でございませう」  
次「外でもないが然う極まつたら千兩でも手付けを呉れさうなものだと思ふだらうが金の出入が種々あるので今持たして上る事は出来な、何も彼も出来をした日に總勘定をするとして夫まで萬屋夫婦、阿波大夫、丸善藤八の五人で引受けては呉れまいか、其の代り必ず金利も付けてやる、チビ／＼拂ふのが誠に嫌ひだから何うだ引受けるか、其の邊の返事をして貰ひ度い」  
と乘氣になつた次郎左衛門の様子に、欺されると氣が付かず五人の者は詞を揃へてして出来るまでは手前共で引受ますと約束を致しました

の者で引受けます」  
其の中料理の數々も出て其の晩は江戸屋へ泊りました、次郎左衛門は下心がございませう故、本宅へ一同を連れて参り再び馳走をいたしました、土蔵もあり店の様子なども大層立派でございませうから一同の者は此の身代なら取はぐれはないと腹の中で喜んで居りました、其の中に歸ると云ふ事になると充分に土産まで持たして歸りましたので萬屋夫婦を初めとして先づ佐野まで出て行つた効があると思ふので歸り、右の由を八ッ橋へも話を致し、又化物を退治して來た、向ふの云ふには唐木を使つて御入用御構ひなしと土臺が出て居る上は千兩懸つたら千五百兩だと云ふ掛けるつもり、幾ら懸つても構はないと云ふので是から八ッ橋樓の普請に懸りました故實に見事なものが出来致しました。

次「然う云ふなら行きもしやうが今聞いた八ッ橋樓の普請だ、俺も佐野の次郎左衛門四百兩や五百兩で押附普請をしたといはれちやア却て人に笑はれる、それより幾らでも掛るだけ掛るがよい、千兩だらうが二千兩掛らうが出来上つた所で拂

たのは會所の四郎兵衛でございませうが、ア、是は事によると腹癒せをする氣ではないかと心付いたが固より據らなく今度も頼まれて來ただけの事、四郎兵衛は別に何も申しません

次「そこで皆、に話がある」

仲「さう事が決りましたら嘸花魁嬉しうございませう」  
阿「今から普請に掛つたら五月まで出来ませうに相違ございません」  
次「木口は成る丈け唐木を使つて御入用御構ひなしで拵へて貰ひたい」  
善「承知いたしました五人

善「承知いたしました五人

看護婦急派の求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

專門 内科一般  
住宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではあまりせん  
平町南町六五  
川井内科診療所  
電話一八一番  
醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥  
松前 家傳 靈効散(無効返)  
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました。今度のものは真正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、輕病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。兒小用の靈効散も出來ました。

金銀高價買入  
各國時計眼鏡貴金屬  
御修繕は専門の當店へ  
根本時計店  
平二(電話六〇七番)

專門 内科一般  
住宅診 内科は何でも診療致します  
往診 呼吸器病ばかりではあまりせん  
平町南町六五  
川井内科診療所  
電話一八一番  
醫學士 川井重之  
女醫 川井安子

販賣部 地方代理店 阿康藥舖  
電話四四番  
定價 試用分(八日分) 五十錢  
重症用(四十五日) 四十五圓  
備症用(廿日分) 壹圓